



## Cisco ボイスメールパイロットの設定

---

ボイスメールパイロット番号は、ユーザが本人のボイスメッセージにアクセスするときにダイヤルする電話番号を指定します。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが電話機上の [メッセージ] ボタンを押すと自動的にこのボイスメッセージ番号にダイヤルします。各ボイスメールパイロット番号は、異なったボイスメッセージシステムに属することができます。

次のトピックでは、ボイスメールパイロットの設定について説明します。

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.77-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.77-3\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.77-4\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の削除 \(P.77-5\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified Communications Manager への接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」

## Cisco ボイスメール パイロットの検索

ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメール パイロットが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定の Cisco ボイスメール パイロットを見つけることができます。Cisco ボイスメール パイロットを見つける手順は、次のとおりです。



**(注)** Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメール パイロットの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメール パイロットの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。

[ボイスメールパイロットの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Pilots)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**(注)** 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.77-6 の「関連項目」を参照してください。

## ボイスメールパイロット番号の設定

ボイスメールパイロット番号を設定する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1 [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。
- ステップ 2 [新規追加] リンクをクリックします。
- ステップ 3 該当する設定値を更新します (表 77-1 を参照)。
- ステップ 4 新規ボイスメールパイロット番号を追加する場合や、既存のボイスメールパイロット番号の設定を更新する場合は、[保存] をクリックします。

#### 追加情報

P.77-6 の「関連項目」を参照してください。

## ボイスメールパイロットの設定値

表 77-1 では、ボイスメールパイロットの設定値について説明します。

表 77-1 ボイスメールパイロットの設定値

| フィールド                      | 説明  |
|----------------------------|---|
| [ボイスメールパイロット番号]            | ボイスメールパイロット番号を識別する番号を入力します。   |
| [コーリングサーチスペース]             | <p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、このパイロット番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのコーリングサーチスペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリングサーチスペース名を検索し、選択します (P.46-2 の「コーリングサーチスペースの検索」を参照)。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> |
| [説明]                       | パイロット番号の説明を記述します。   |
| [システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定] | <p>チェックボックスをオンにして、このパイロット番号をそのシステムのボイスメールパイロットのデフォルトにします。</p> <p> (注) [システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定] ボックスをオンにすると、このボイスメールパイロット番号は、現在のデフォルトパイロット番号を置き換えます。</p>  |

### 追加情報

P.77-6 の「関連項目」を参照してください。

## ボイスメールパイロット番号の削除

ボイスメールパイロット番号を削除する手順は、次のとおりです。[Default] または [No Voice Mail] のプロファイル番号は、削除できません。

### 始める前に

ボイスメールプロファイルが使用するボイスメールパイロット番号は、削除できません。ボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを検索するには、[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用中のボイスメールパイロットを削除しようとすると、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているボイスメールパイロットを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルすべてに、別のボイスメールパイロットを割り当てる。[P.78-4](#) の「[ボイスメールプロファイルの設定](#)」を参照してください。
- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを削除する。[P.78-6](#) の「[ボイスメールプロファイルの削除](#)」を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。

**ステップ 2** [P.77-2](#) の「[Cisco ボイスメールパイロットの検索](#)」の手順を使用して、ボイスメールパイロットを検索します。

**ステップ 3** 削除する Cisco ボイスメールパイロットをクリックします。

**ステップ 4** [削除] をクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。



**(注)** [Default] または [No Voice Mail] のパイロット番号を選択した場合、[削除] ボタンは表示されません。

**ステップ 5** ボイスメールパイロットを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

ボイスメールプロファイルがこのボイスメールパイロット番号を使用している場合は、このボイスメールパイロット番号を使用しているボイスメールプロファイルの番号を示すメッセージが表示されます。

### 追加情報

[P.77-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.77-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.77-3\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.77-4\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の削除 \(P.77-5\)](#)
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco Unified Communications Manager への接続性」
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」
- [メッセージ受信の設定 \(P.76-1\)](#)
- [ボイスメールプロファイルの設定 \(P.78-1\)](#)